

施設名	曾木第発電所遺構								
所在地	鹿児島県伊佐市								
管理者等	所有者 国土交通省鶴田ダム管理所 管理者 伊佐市								
施設種類・分野	河川								
施設概要 (明治期との関連含む)	曾木第2発電所は、明治42年に牛尾金山の動力源や近傍町村の電灯需要を目的に建設された水力発電所。レンガ造りの洋風建築様式やドイツシーメンス社の発電機導入、1.5kmにわたる導水路などが特徴。昭和40年鶴田ダムの建設に伴い発電所は閉鎖され湖底に沈んだ。平成11年頃から市を中心に国、県、NPO等が保存活用の取り組みが始まり、平成16年に鶴田ダム管理所が補修工事を実施。現在は遺構として遊覧船による観光スポット等として活用されている。(文献、鶴田ダムパンフレット、鶴田ダムホームページから適宜引用)								
築造時期	明治後期			時期詳細	明治42年				
関連人物	野口 遵								
関連企業	チツノ(株)、旭化成、積水化学								
トピックス (特徴的エピソード)	曾木の滝から下流1.5km付近の右岸に曾木発電所遺構は位置しており、冬場の貯水位が高い時期は湖底に沈む。貯水位が低下する6月～8月になると湖面から姿を現す。補修されたレンガ造りの建物はさることながら、ヘッドタンクや導水路等も保存されておりそのスケールの大きさは観光客を魅了している。(鶴田ダムパンフレット、鶴田ダムホームページから引用)								
歴史的な遺産等の指定の有無等	○	選奨土木遺産(土木学会)	—	文化財(文化庁)	登録有形文化財(建造物)	近代化産業遺産(経産省)	○	世界遺産(ユネスコ)	—
その他 (関連資料、文献)	<ul style="list-style-type: none"> ・文献 近代化産業遺産群33 (http://www.meti.go.jp/policy/local_economy/nipponsaikoh/nipponsaikohsangyouisan.html) ・資料 鶴田ダムパンフレット ・公益財団法人 野口研究所 http://www.noguchi.or.jp/index.php?lang=ja 								
管理者等のHP (URL等)	鶴田ダム管理所ホームページ http://www.qsr.mlit.go.jp/turuta/g4_sogiikou/								



鶴田ダムパンフレットより引用